

## 令和5年度 横浜市立大道中学校経営方針

### 【校訓】三愛一好の教育

人を愛し、美を愛し、知を愛す。運動を好む。

### 【学校教育目標】

- 主体的に学ぶ態度を育成し、確かな学力を身につけさせます。
- コミュニケーション能力を高め、健全な社会性を身につけさせます。



### 1. 教育目標を実現するための方策

- ① 学習指導要領の全面実施3年目であり、「主体的・対話的で深い学びの実現」をテーマとし、各教科で研究を深めます。
- ② 学習指導要領や横浜教育ビジョンが示す2030年の未来に活躍する生徒の育成を目指し、「グローバル化、高度情報化に対応したGIGAスクールの実現」をテーマとし、環境整備、指導方法等の改善を図ります。
- ③ 「個別最適な学び」の実現に向け、生徒一人一人の特性や学習進度に応じて指導方法や教材を柔軟に提供するなどの「指導の個別化」と、生徒一人一人に応じた学習課題の提供などにより生徒自身が学習を調整する「学習の個性化」を実現させます。

### 2. 重点的取組を行う分野

- ① 学習指導要領に示す教育の理念や方向性を踏まえ、2年間の取組を振り返り、指導計画や評価規準等の見直しを行い、教育課程の編成・実施・評価・改善のサイクルを確立します。
- ② 大道中学校「豊かな心の育成推進プラン」を見直し、人権教育や道徳教育のさらなる充実に努めます。自然災害などの被災を想定しつつ、世界の様々な地域で勃発している戦争を重く捉え、赤十字活動などを通じた人道の在り方を模索します。
- ③ インクルーシブ教育の充実という視点では、特別な支援を必要としている生徒の学びの場、居場所を確保する校内ハートフル事業の推進、個別支援学級生徒の交流支援などに力を入れます。
- ④ 給食の時間や家庭科、保健体育の時間などを活用し、教科等横断的に健康教育や食育、安全教育の充実に努めるとともに、部活動や行事を通して、子供のたくましく生きる力を高めます。

### 3. 全教職員で大切にしたい視点

□Think globally, act locally. 「地球規模で考え、足元から行動せよ」

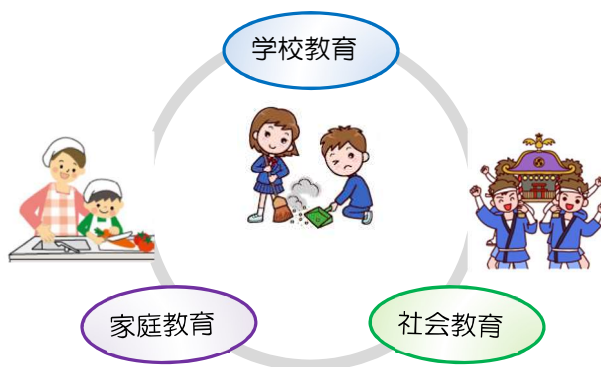
グローバル化、高度情報化が急速に進展した現在は、「教育こそが国の発展を支える」といった OECD の理念を世界中の国が取り入れ、教育改革を実施してきました。日本もその影響を受け、現行の学習指導要領から「思考力・判断力・表現力」といういわゆる「活用する力」の育成を主たるねらいとしています。

また、横浜市では中期計画に SDGs を掲げ、教育だけでなく、福祉、医療といった様々な角度から実現に向けた取組を実施しています。

大道中学校では、世界や日本の動向を踏まえた広い視野で教育を考えること、目の前にいる生徒のために何ができるかを丁寧に考えることの両方を大切にします。

□学校教育、家庭教育、社会教育の三つの教育

子供を取り巻く 3 つの基本的環境である学校、家庭、社会における教育は、それぞれが人の成長にとっても大切な意味を持っています。大道中学校は家庭、地域との連携を大切にして、バランスの良い教育を行います。



□不易と流行

教育には、礼儀や互いを尊重することなど、いつの時代でも変わらずに大切にしたいもの、時代の変化とともに新たに取り入れるべきものがあります。これまで60年間にわたり大道中学校が大切にしてきたものを再確認するとともに、国や横浜市が示す新しい教育理念や指導方法などを適切に取り入れていきます。

### 4. 具体的な校内施策

□授業力向上

- ・授業力向上に向け、互見授業や公開授業を大切にします。
- ・横浜市学力学習状況調査の結果を有効に活用し、客観的な事実に基づいた指導と評価を実践します。



□小中一貫教育

- ・小中合同授業研修会を実施し、教科指導の系統性を高めるなど、9年間の見通しをもった学習指導を展開します。
- ・小中の専任連絡会などを通して、大道中学校ブロックのスタンダードを確立し、9年間の一貫した児童生徒指導を実現します。